

原口後援会会長が出版したエッセイを金沢八景キャンパス学術情報センターへ寄贈しました。



横浜市立大学の卒業生でもある原口会長が若い世代に向けた応援メッセージも込めた人生を振り返るエッセイ

人生の春夏秋冬でいえば晩秋を迎える自らの生き方を問う。

過去に縛られず、明日の不安に囚われず、今を大切に、自由に軽やかに、秋空に漂う浮雲の如く生きてゆこう。

人は何歳まで生きたか、いくら稼いだかではなく、何を大切にし、どう生きたかだ。

苦あれば楽もある喜怒哀楽の道中で、それがたとえ自己満足であったとしてもいくばくかの達成感と日々の営みにささやかな幸せを感じられたのであれば上等ではないか。

目次

第一章 戦後の昭和30年代～生い立ち

第二章 歌って踊れるサラリーマン海を渡る

- ヨーロッパ編

- アメリカ編

第三章 家族を通して知る世界

第四章 帰国して

第五章 日本という国の骨格

結章 浮雲の如く

